

成瀬駅周辺地区 バリアフリー基本構想の概要

目的と策定の進め方

町田市では、町田市福祉のまちづくり総合推進条例等と町田市交通マスタープランに基づいて各施設や道路交通のバリアフリー化を推進しています。

今後さらに、地域一体での面的なバリアフリー化を推進するために、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づく町田市内全域の移動等円滑化の全体方針（以下「全体方針」）を策定し、これを踏まえて、成瀬駅周辺地区におけるバリアフリー基本構想（以下「基本構想」）を策定しました。

基本構想は、町田市福祉のまちづくり推進協議会におけるバリアフリー部会において、検討を進めてきました。

1. 成瀬駅周辺地区における移動等円滑化の基本方針

基本理念

高齢者や障がい者、子ども、来訪者などだれもが鉄道やバスを利用しやすく、安全に安心して行動できるよう、市民や事業者との協働により、やさしさを育む社会参加のまちづくりを目指す

成瀬駅周辺地区は、約4万人／日の乗降客が利用するJR成瀬駅があり、8系統の路線バスやコミュニティバスが運行される地域の重要な交通拠点です。

成瀬駅は地域コミュニティ活動の拠点、日常の生活を支える身近な商業地が立地し魅力ある生活核であり、沿道では街路樹の緑陰が続き、緑豊かな街並みが形成されています。

また、当該地区にある総合体育館は、スポーツ大会等の会場として利用されており、大会開催時等には多くの来訪者が訪れています。

これらの特性を踏まえて、高齢者や障がい者、子ども、来訪者など誰もが鉄道やバスを利用しやすく、安全に安心して行動できるよう、市民や事業者との協働により、やさしさを育む社会参加のまちづくりを目指します。

整備については、早期実現を目指して、重点化を図りながら実現性を考慮して進めていきます。

多様な事業のため、行政、交通事業者、施設所有者等市民が各々の責務※を果たしながら、協力し合いバリアフリー化を推進します。

※困っている人への助力等

基本方針

基本理念を達成するため、次のような3つの基本方針を設定しました。

基本方針1：すべての人が安心して鉄道やバスを利用し、移動の連続性に配慮したまちづくりを目指す

基本方針2：歩行者が安全・安心に移動できる環境整備を目指す

基本方針3：自転車のマナーの普及啓発及び自転車対策の強化を目指す

2. 重点整備地区の位置・区域

成瀬駅周辺地区における重点整備地区は、都市機能（業務・商業施設等）が集積しているJR成瀬駅を中心とした概ね半径500mの範囲を設定しました。

（裏面を参照）

3. 生活関連施設、生活関連経路とこれらにおける移動等円滑化の事項

(1) 生活関連施設の設定

成瀬駅周辺地区における生活関連施設は、全体方針に従い、日常生活や社会生活において高齢者や障がい者等を含めた不特定多数の人が利用すると考えられる特定旅客施設や市民センター等の官公庁施設、福祉施設等を設定しました。（裏面を参照）

(2) 生活関連経路の設定

生活関連経路の設定にあたっては、(1)で抽出した施設間を結ぶ経路について、全体方針に従い、特定旅客施設など主要な施設からのアクセスやネットワーク形成、高齢者、障がい者等の利用状況を考慮して設定しました。（裏面を参照）

4. 実施すべき特定事業

事業内容では、早期整備が困難な場合は、実現性を考慮した暫定的な内容を設定しました。

(1) 公共交通特定事業

公共交通特定事業を実施する箇所は、特定旅客施設（JR成瀬駅）と低床バスの導入など（神奈川県中央交通株式会社）を対象としました。主な事業内容は、裏面に示すとおりです。

(2) 道路特定事業

早期実現を図るために、優先的に整備を進める最重要生活関連経路は、地区や経路の特性を踏まえて全ての生活関連経路を選定しました。最重要生活関連経路と主な事業内容は、裏面に示すとおりです。

(3) 交通安全特定事業

生活関連経路において、成瀬駅前交差点の信号機の改良や、JR成瀬駅周辺の放置自転車防止のための指導・取締り等を事業内容としました。（裏面を参照）

5. バリアフリー部会でのその他意見

特定事業としての位置づけはありませんが、長期的な視点で検討が必要な事項を以下に示します。

○スポーツ大会開催時等、多くの人が訪れる総合体育館等の施設については、成瀬駅からの安全かつ円滑な誘導を行うためにも、バリアフリー基本構想とイベント時の誘導計画との整合性を図りながら、今後の整備について検討していく必要があります。

○困っている方に助力する心のバリアフリー化は当たり前のこととして生活に浸透させる必要があり、地区内の住民や子どもたち、事業者を対象として、心のバリアフリーや駐輪等に対するマナーの向上などの広報や啓発活動を実施することが必要です。



町田市立総合体育館



成瀬駅北口付近

〈検討の経緯〉

基本構想は、学識経験者、障がい者団体、交通事業者、地域住民等で構成されている福祉のまちづくり推進協議会バリアフリー部会において、成瀬駅周辺地区について2011年度より概ね2年間検討を進めてきました。具体的な問題を把握するために、会員等による現地点検を行いました。



現地点検の様子

発行：2013年3月

お問い合わせ：町田市都市づくり部交通事業推進課

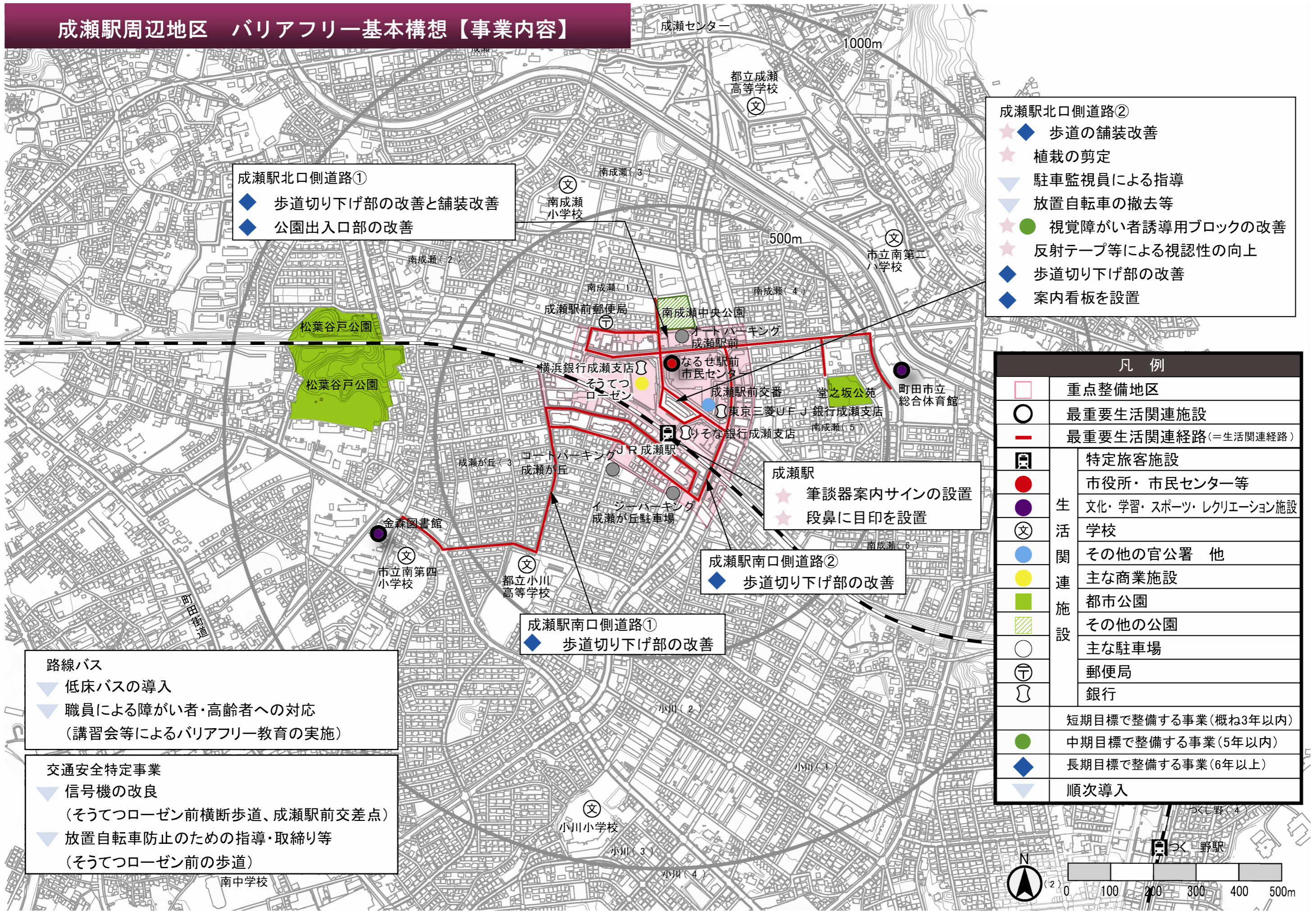
〒194-8520 町田市森野2-2-22 電話：042-724-4260 F A X：050-3161-6322

Eメール：toshi110@city.machida.tokyo.jp

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

成瀬駅周辺地区 バリアフリー基本構想【事業内容】



成瀬駅北口側道路①

- ◆ 歩道切り下げ部の改善と舗装改善
- ◆ 公園出入口部の改善

- 成瀬駅北口側道路②
- ◆ 歩道の舗装改善
 - ★ 植栽の剪定
 - ▽ 駐車監視員による指導
 - ▽ 放置自転車の撤去等
 - ★ ● 視覚障がい者誘導用ブロックの改善
 - ★ 反射テープ等による視認性の向上
 - ◆ 歩道切り下げ部の改善
 - ◆ 案内看板を設置

成瀬駅

- ★ 筆談器案内サインの設置
- ★ 段鼻に目印を設置

成瀬駅南口側道路②

- ◆ 歩道切り下げ部の改善

成瀬駅南口側道路①

- ◆ 歩道切り下げ部の改善

路線バス

- ▽ 低床バスの導入
- ▽ 職員による障がい者・高齢者への対応 (講習会等によるバリアフリー教育の実施)

交通安全特定事業

- ▽ 信号機の改良 (そうてつローゼン前横断歩道、成瀬駅前交差点)
- ▽ 放置自転車防止のための指導・取締り等 (そうてつローゼン前の歩道)

凡例	
□	重点整備地区
○	最重要生活関連施設
—	最重要生活関連経路 (=生活関連経路)
🚶	特定旅客施設
●	市役所・市民センター等
●	文化・学習・スポーツ・レクリエーション施設
⊗	学校
●	その他の官公署 他
●	主な商業施設
■	都市公園
▨	その他の公園
○	主な駐車場
〒	郵便局
🏦	銀行
	短期目標で整備する事業 (概ね3年以内)
●	中期目標で整備する事業 (5年以内)
◆	長期目標で整備する事業 (6年以上)
▽	順次導入

